

広報 だ ん ち

2023
12月号

NO.503

(協) 焼津水産加工
センター 発行
焼津市惣右工門1280番地の2
編集・総務係
発行：令和5年12月25日

TEL・054-624-2111
FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp/>

12月団地の言葉

「大丈夫だろう。その油断が事故になる」

この広報誌が発行される頃には令和5年も残り僅かとなります。今年も組合員及び組合役員、お取引先様や地域の皆様のご協力を賜り大きなトラブル無く無事に一年を終える事が出来ること、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年の前半も新型コロナウイルスに悩まされましたが5月から5類に移行した事を機に隔離措置や外出の自粛要請、就業制限が無くなりました。また、濃厚接触者として特定される事も無く外出自粛も求められなくなつたので徐々に以前の様な生活に戻ってきました。その為今年も数年振りに全国各地で様々なイベントが開催(再開)され、今の時期には忘年会が解禁ムードになり飲食店が以前の様な賑わいを取り戻しつつある様に見受けられます。この紙面を読んでいる皆様も公私ともに酒席に出られる機会もあるかと思ひますが、くれぐれも飲酒運転はしない様にご注意下さい。

さて、今月3日(日)は地域防災訓練が行われる予定でしたが2日(土)深夜にフィリピン付近で発生した地震により津波注意報が発令され焼津市では訓練が中止されました。県内では焼津市を含む3地点で10cm程度の津波が観測されましたが幸いにも被害は無く3日午前9時には注意報は解除されました。真夜中に外からサイレンの音が聞こえ、スマホが大音量で鳴った時には緊張感が走りましたが鳴り止む前に着替えを済ませて家族に注意を呼び掛けると言う基本的な行動は迅速に出来たかと思ひます。この様な非常事態に如何に素早く適切に行動出来るかをシミュレーションするの

が防災訓練です。訓練で出来ない事は本番でも出来ません。情報が少なく精度が低い時点では最悪の事態を想定して行動するのが正解です。結果として「何事も無かつた」は笑い話で済みますが「全く行動せず予想外の被害を受ける」のは落第点です。2日の津波注意報発令も結果として「抜き

打ち訓練」の様でしたが、以前この紙面で書いた「プロアクティブの原則」の1つ「災害対応は空振りには許されるが見送りは許されない」の言葉を再び書かせて頂きます。今月のだんちの言葉は木村商店さんの作品です。

年末年始休業日のお知らせ

組合事務所は、12月29日(金)から1月4日(木)までの間、年末年始休業になります。1月5日(金)より通常営業を開始しますので、宜しくお願い申し上げます。



今月の紙面

P 2 12月の定例役員会/MYFCフットサルカップに実習生が参加/かかみがはら産業・農業祭物産展に出店/「空の安全を守るため」工団連関東ブロック協議会研修、行われる。

P 3 年末の交通安全県民運動が始まっています/インフルエンザ予防接種を実施

P 4 カツオ情報/百味窓

1月の組合行事予定

1月10日(水)
定例役員会

1月の暦

1月1日(月)
元旦

1月8日(月)
成人の日

◆12月の定例役員会◆

去る12月12日に、12月度定例役員会が開催されました。

1 総務委員会開催報告について
組合三役を構成員とする総務委員会が開催され、「職員の冬季賞与支給について」が持回り稟議にて審議された。11月に実施した職員人事考課の結果を基として、事務局により内部規程に従い支給案を算出し、委員に伺い、承認された。なお、総務委員会については、年明けに次年度の人事等に関する審議を議題として会議を持つことを連絡した。

3 連絡・報告事項

そのほか、「他団体の催事案内について」「いわゆる技能実習生等についての「有識者会議」の最終報告案について」「実習生新年会の実施について」ほか2項目について了承された。

◆MYFCフットサルカップに実習生が参加◆

10月29日(日) 吉田町にある高島スポーツ広場にて藤枝MYFC主催の第2回フットサルカップが開催され、昨年に引き続き加工団地からも実習生20名(2チーム)が参戦して参りました。参加チームは昨年



よりも増え9社12チーム総勢120名が熱戦を繰り広げまし

た。今年の結果は加工団地Bチームが4位、Aチームが7位でした。昨年は1位と2位だったの

で来年は再び優勝を狙いたいですね。実習生達も他の企業の実習生と大会を通じて交流を図る事が出来たのも一つの成果だと思います。他の参加企業からは大勢の社員が応援に駆け付け大会を盛り上げて下さいました。

また、前日28日(土)には昨年のフットサルカップが社会連携活動としてJリーグから認められ藤枝のスタジアムにて「シヤレンアウォーズ」の授賞式が執り行われました。組合からは長谷川部長が代表して出席し、ハーフタイム中にピッチに立ち感謝状を受領して参りました。



◆かかみがはら産業・農業祭物産展に出店◆

11月18・19日に岐阜かかみがはら

航空宇宙博物館で行われた「かかみがはら産業・農業祭」に当組合と焼津水産加工業協同組合の2組合で出店致しました。

今回は組合員商品のフィッシュカルシウムやかつお節パック、佃煮などを販売しました。

どの商品も好評で開始直後から人だかりができ、最後までお客様が途絶えることはありませんでした。

時折雨がパラつくこともありましたが、地元の野菜直売や体験ブース、ステージイベントやスタンプラリーなど様々な企画が催され、両日もとても賑わっていました。

初めての出店場所のためどういふ雰囲気かわからず心配しましたが、大勢の来場者に焼津の特産品をアピールする事が出来ました。



◆「空の安全を守るため」工団連関東ブロック協議会研修、行われる◆

全国の工場団地組合を構成員とする全国工場団地協同組合連合会(以下、工団連)

は、更に地域ごとに区分してブロック協議会を設置しており、静岡県は関東ブロック協議会に属しております。このほど、工団連関東ブロック協議会にて研修会が開催され、当組合から水野事務局長（工団連関東ブロック協議会 監事）が出席致しました。現在同協議会の事務局を担当するのが、城南鋳物団地協同組合（東京都大田区）で、その地元である羽田空港の見学が行われた。同組合は羽田空港に隣接しており、今回はその関連もあって、通常は進入できない滑走路内や各航空会社の整備場、更には管制塔について、管理運営する国土交通省東京航空局東京空港事務所の皆様にご案内とご説明をいただきました。

安全に、確実に空の交通を整備する一方で、日々進化し複雑化する交通網・物流網への対応とご苦労をお話しいただきました。その対応の一環でもありますが、新たな滑走路や倉庫などを整備する際は、空港敷地の中でも海側を念頭におき、宅地側は緩衝地帯として空港機能は除いていくようにしているとのことでありました。

その後、その元空港用地を再利用し、大田区役所が「イノベーション創出」を掲げて、人が集まる衣・食・イベントブース、また足湯などの施設、更には研究開発施設や先端医療センターなどを集約した大規模複合施設「Pio PARK」を見学しました。大田区は、東京23区内で「一番のものづくり区」（製造業などの企業数トップ）として、区内・都内ばかりでな

く、国内、そして世界に土地元の技術力を広めていきたいとして、PRブースも備え、行政職員の本気度が伝わってまいりました。



◆年末の交通安全県民運動が始まっています◆

「安全をつなげて広げて事故ゼロへ」をスローガンに12月15日（金）から31（日）までの期間「年末の交通安全県民運動」が実施中です。今年の重点目標は①歩行者と自転車の安全確保、②夕暮れ時と夜間の交通事故防止、③飲酒運転等危険運転の根絶の3つです。更に焼津市では年間の重点目標として①子供と高齢者の交通事故防止、②交差点の交通事故防止を掲げています。市内では特に「出会い頭」の交通事故が多いそうなので、交差点では必ず一旦停止し左右の安全確認を怠らない様にご注意下さい。また、年末は公私ともに慌ただしさを感じ集中力が低下する事もあるかと思えます。そんな時こそ落ち着いて交通

ルールとマナーを守り、交通事故防止の徹底に努め、無事故・無違反で明るく新年を迎えたいと思います。

年末の交通安全県民運動 12月15日～12月31日



◆インフルエンザ予防接種を実施◆

今年（金）の2日間、組合事務所1階会議室でインフルエンザの予防接種を行いました。2日間で合計207人の方が予防接種を受けられました。

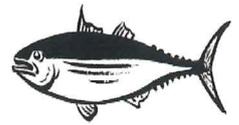
今年（金）は9月頃からインフルエンザ流行の兆しが見え始め、現在全国で感染者が急増しています。予防接種を受けられた方も室内に入っただけでは手洗いうがいなどの対策をして、風邪には注意していきましよう。



§ 2023年(1~10月計)の輸出入

※輸出はFOB 価額、輸入はCIF 価額

※財務省貿易統計データを加工して作成



カツオ

<輸 出>		2023年		2022年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タ	イ	12,824	3,209,789	5,951	1,241,338
フ	ィ	2,473	711,424	2,104	509,921
ベ	ト	123	32,817	619	131,145
計		15,433	3,962,334	12,413	2,692,708

<輸 入>		2023年		2022年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
イ	ン	27,474	6,650,962	14,105	2,938,334
マ	ー	817	193,352	1,531	276,749
ミ	ク	745	181,965	238	39,073
計		30,424	7,350,075	17,444	3,593,742

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

水産庁統計データ・冷蔵水産物流通統計を加工して作成

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2023年(単位:t)	17,090	15,683	18,729	14,416	15,725	16,770	18,078	18,713	18,092				153,296

情報

§ 国内主要漁港市場の水揚 (2023年1~10月計)

※水産庁統計データ・産地水産物流通統計を加工して作成

<生カツオ>	2023年		2022年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	48,505	375 円	29,207	405 円	166%	93%
<冷カツオ>	125,694	321 円	129,812	258 円	97%	124%
<カツオ合計>	174,199	336 円	159,019	285 円	110%	118%

§ 焼津水揚 (2023年1~11月累計)

※焼津漁業協同組合統計データ 取扱高対比表を加工して作成

<1本釣カツオ>	2023年		2022年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	14,614	367 円	13,314	393 円	110%	93%
<巻網カツオ>	50,330	271 円	50,097	221 円	100%	123%
<カツオ合計>	64,944	293 円	63,411	257 円	102%	114%

百味窓

異国風景—「衣・食・住・行」の行②

環境整備が進み、町中での移動も随分便利になっている。特に大きな町では、所謂「共享單車」があちこちにあり、「單車」は自転車のことです。携帯電話で自転車のQRコードに照合すればネットで支払い、1元2元(30円)ぐらいで街中の行きたいところに行き、目的地に自転車を置いたまま離れることができます。北京市内の地下鉄入口には毎朝、山ほど自転車が置かれ、通勤族に十分に利用されています。ラッシュアワーが過ぎると、管理会社の軽トラックが町中を回収に回り、あちこちに自転車を再配置します。

どの町でも、60才以上年配の方は市内を回るバスで老人カードを提示すれば無料で乗車できます。老人社会になったら、バス会社は赤字になるのではないかと心配の声が聞こえます。

EV自動車の普及で、電気自動車は庶民の生活にもっと近づいてきました。日本にあるような軽自動車が電気のもので、免許がいらない。町の中でどこでも移動できるし、駐車制限もない。冷暖房がついているので、買い物や幼稚園の送迎に非常に便利です。ちなみに新車でも1万円(20万円)ぐらいで買える。フル充電すれば100キロ以上走れる。購入手続きも簡単で午後1時に購入相談が始まり、3時ぐらいすべて手続きが完了で乗って帰れます。勿論、購入の値段も相談できます。

